会　　議　　録

会議名 （審議会名）		第４８回相模原市地域包括支援センター運営協議会
事務局 （担当課）		地域包括ケア推進課　電話０４２－７６９－９２３１（直通）
開催日時		令和８年９月１６日（水）　午後２時００分～午後４時００分
開催場所		ウェルネスさがみはらＡ館７階　視聴覚室
出席者	委　員	１６人（別紙のとおり）
	事務局	２１人 （地域包括ケア推進部長ほか関係各課・機関の長等１２人、地域包括ケア推進課８人）
	その他	３人（地域包括支援センター職員）
公開の可否		□可　■不可　□一部不可　　傍聴者数
公開不可・一部不可の場合は、その理由		議題（４）「地域包括支援センター運営法人の公募に係る受託候補法人の選考　結果について」（資料⑨）が「相模原市情報公開条例 第７条（３）－ア」に該当。
会次第		１　開会 ２　あいさつ ３　委員委嘱 ４　議題 （１）地域包括支援センターの運営状況等について ・令和７年度地域包括支援センターの運営状況等について　【資料　１】 ・令和７年度地域包括支援センター事業評価結果について　【資料　２】 ・令和７年度介護予防ケアマネジメント及び指定介護予防支援業務の公正・中立性評価について　【資料　３】 ・令和８年度地域包括支援センターの運営等について　【資料　４】 ・令和８年度地域包括支援センター事業計画について　【資料　５】 （２）地域づくりについて　※旧地域ケア推進会議関連 ・令和７年度地域ケア会議の取組報告及び地域課題について　【資料　６】 ・シニアサポート活動及び担い手の育成に関する取組状況について　【資料　７】 （３）第１０期高齢者保健福祉計画の策定について　【資料　８】 （４）地域包括支援センター運営法人の公募に係る受託候補法人の選考結果について　【資料　９】 ５　報告 （１）藤野地域包括支援センターの移転について　【資料１０】 （２）高齢者ごみ出し支援モデル事業（ふれあい収集）地区拡大について　【資料１１】 ６　閉会

審　議　経　過

１　開会

２　あいさつ

廣瀬会長より挨拶

米山地域包括ケア推進部長より挨拶

３　委員委嘱

杉野委員（相模原市社会福祉協議会）より挨拶

堀江委員（神奈川県看護協会）より挨拶

相模原市地域包括支援センター運営協議会（以下、協議会）協議会規則第３条第３項に基づき廣瀬会長が議事を進行した。

４　議題

事務局より、資料に基づき説明を行うとともに、事前に委員から頂いた質問に回答した。

（１）地域包括支援センターの運営状況等について

・資料訂正

修正箇所	誤	正
資料１-Ｐ１０-「１　職員配置状況（令和７年４月１日時点）」-１行目	９人の加配	１０人の加配
資料４-Ｐ　２-「Ⅱ　令和８年度　収支予算」表中「年度」標記	令和６年度	令和７年度
	令和７年度	令和８年度

・議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

令和７年度介護予防ケアマネジメント及び指定介護予防支援業務の公正・中立性評価について

（杉野委員）　意向を確認したことを記録したとしても、パーセンテージ（占有率）を下に向けさせるのは難しいと思う。サービス事業所が少なくて、選択肢が希薄というこの地区特有の理由があるのであれば、毎年基準を超え、毎年ヒアリング調査をすることとなってしまう。その手間暇を考慮した場合、例えば地域ごとに基準値を見直すとか、特段の理由がある地区については特別な項目を設定するなど、事務軽減を含めて見直しをした方が良いのではないか。

（事務局）毎年、地区内の事業所数を基に特例地を適用し、当該２地区についても、他の地区より基準値を高く設定しているが、今年度については、その高い基準を２地区ともに超過してしまったので、経年の変化も見ながら、別の特例の設定の仕方を検討していきたい

（会長）特例の設定の仕方はどのように決めているのか。
（事務局）他の市区町村の状況や基準を参考に、地理的な状況や移送サービスの状況など、緑区独自の状況を考慮して設定している。今後も経過をみて、設定していきたい。
（坂本委員）元々この最大占有率の設定というのは、包括の母体法人が運営するサービス事業所に利用が集中することを防ぐために設けられたものなので、津久井地域に関しては、占有率を外して良いのではないか。そうしないと包括の受託法人の入札そのものに応じなくなり、ポッカリ空いてしまう、包括が居ない地区が出来てしまうのではないか。今の津久井の現状は、占有率が高いサービス事業所は、包括と同じ法人でもなく、利害関係がないので、占有率が１００％になってしまっても良いのではないかと思う。検討をお願いしたい。
（会長）数値の推移を見ても、問題のある数値には見えないので、柔軟に検討いただきたい

（２）地域づくりについて
・議題のとおり承認された。意見は次のとおり。
① 令和７年度地域ケア会議の取組報告及び地域課題について
（杉野委員）（事前質問の主旨は）「包括のケア会議とその他の様々な会議のメンバーがほぼ一緒なので、会に出席するメンバーの負担軽減のため、会議を一緒にすることはできないか」というものだと思う。会のメンバーは、あちこちの会を兼任しているので、市の方でも時間の節約や、会議参加による自治会等の負担を軽減することを考慮など、活動する方の負担を減らしていただきたいと思う。
（坂本委員）地域づくり部会の最初から参加しているが、現状行き詰まっている。課題も全部出尽くしたし、対応方法も全部やって、ダメなものはダメだった。今後は個別事例部会を中心に組み立てていくのが良いと思う。包括の認知度も上がり、重要性も高まった。行政と地域を繋ぐ役割を担わせて、バックアップしていけたらと思う。
（会長）個々の事案に対して、個別に対応した方が良いという御意見か。
（坂本委員）その通り。

② シニアサポート活動及び担い手の育成に関する取組状況について
（坂本委員）シニアサポート活動については、縛りが緩やかになったので、現場としては助かっている。ただ、草むしりは認められておらず点数にならない。実際は草むしりが大変で、人数も要るし、時間もかかる。何とか活動対象に入れてもらいたいがいかがか。
（事務局）地域包括支援センターへ聴き取りしたところ、ボランティアセンターがシニアサポート活動に登録している場合、独自の活動として、草むしりの支援を行っている団体があるということが把握出来た。本事業の対象となる活動は、介護予防に関する支援活動として実施しており、介護保険制度に準じて行うものと考えており、草むしりが制度の趣旨に合致しているかどうか、慎重に検討していきたい。

（３）第１０期高齢者保健福祉計画の策定について
・議題のとおり承認された。※意見なし

「４．議題－（４）」については、「５．報告」の後に協議することとし、「５．報告」について、事務局より説明を実施。

５　報告

（１）藤野地域包括支援センターの移転について

※意見なし

（２）高齢者ごみ出し支援モデル事業（ふれあい収集）地区拡大について

・意見は次のとおり。

（内藤委員）ケアマネジャーとして担当しているクライエントの１名がふれあい収集を使わせてもらっている。周知のことで、知らないケアマネジャーが多いと思う。ケアマネジャーからではなく、ヘルパーから情報がまわってきたりする。ケアマネジャーは他の地域を担当することもあり、ケアマネジャーの交流会もあるが、該当しないケアマネジャーには情報が入らないことになるので、周知方法について検討いただきたく思う。

（会長）具体的に、こういう方法ならケアマネジャーに伝わるのではという提案はあるか。

（内藤委員）全市展開ではなく、モデル事業のため、周知方法も難しいとは思う。
ケアマネジャー自身も情報を集めなければならないが、ケアマネジャーは市の窓口によく行くので、そういった際に、○○地区でモデル事業を実施しているなどの周知をしてもらえると良いのではないか。

（会長）現状、事例が少ないので、もっと利用件数が増えて、検証ができると良い。

会長から、までの議事について御意見・御質問等を確認。

・意見は次のとおり。

（澤田委員）議題（１）「地域包括支援センターの運営状況等について」（資料１）Ｐ１２
令和７年度収支決算について。収支の最も大きいマイナスが２００万、最も大きいプラスが８００万と、１，０００万円近くの大きな差が生じている。支出のうち、人件費が占める割合が大きいので、Ｐ１０にある職員の欠員がある包括で、プラスが生じているということや、これだけ欠員が出ている中で、定数比較の結果が０．５と小さいことから、定数以上に手厚く職員配置しているところもあって、そういう所が、退職や定着率に影響しているのではないかと考える。この収支の差について分析することが定着率の悪い包括等の課題解決に繋がると考えられるがいかがか。

（事務局）収支の差については、収入支出共に人件費が大きく関わっており、欠員や加配が関わっているが、原因が究明できておらず、今後確認を進めていきたい。

（会長）収支のバラつきは問題であり、人員の流動等、人員を補充するために多額のお金がかかる等もある。検証は是非よろしくお願いしたい。

（堀江委員）資料４の職員配置状況について。今人員確保は大変。国全体が高齢化している中、スタッフも高齢化している。職員の在籍年数から５年未満が半数を占めていることが判るが、５年以上の方が離職してしまう要因として、職員の高齢化が影響しているのか否か、労働環境や条件による離職なのか、高齢化による離職なのかを判断する要素になると思うので、データとして分かっていれば教えていただきたい。

（事務局）分析としてはっきりとしたデータはないが、近年定年で経験の長い職員の退職が

続いている。安定した職員の配置ができるよう検討して参りたい。

休憩中に、石川委員及びオブザーバー（３包括職員）が退出。

４．議題

（４）地域包括支援センター運営法人の公募に係る受託候補法人の選考結果について

・議題のとおり承認された。意見は次のとおり。

（坂本委員）８つ包括が、あえて二次募集にまわった理由は何か。

（事務局）今回の公募につきまして、応募資格に、市のガイドラインに基づいて入札参加登録が必要でしたが、登録が完了しなかったものが主な要因。

（坂本委員）しっかり二次募集でやって欲しい。

（前田委員）決まっていない地区のうち、手を挙げなかった法人があったということを聞いた。全体的に包括を運営することのプラス面がないと考えて、手を挙げなかったことと思う。包括の運営というのが運営する法人にとってメリットが見えなくなってくると、手を挙げなくなってくる。法人の色々な考えに基づいたものと思われる。新磯や星が丘で、手を挙げてくれる法人が居てくれると良いなと思っている。

（事務局）資料９－２。斜線を引いた法人すべてが手を挙げなかったわけではなく、応募要件を満たさなかったことで、審査に進めなかったことが実情。

（徳田委員）二次募集に応募がなかった場合、（包括が無い状況の中）地域住民はどこに相談したら良いのか。

（会長）もし仮に不成立となった場合は、いかがか。

（事務局）そういったことがないように二次募集の周知や、様々にお声掛け、間口を広げているので、そのようなことがないようにと考えている。

（久松副会長）包括支援センターをめぐる状況が変わりつつある。人材確保や予算面もそうだが、課題も山積していると思う。旧地域ケア推進会議のこともあるが、行政に意見を寄せながら、疑問点や課題点あれば挙げていただきたいと思う。

５　閉会

以　上

相模原市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

令和８年９月１６日（水）

No.	委員名	ふりがな	選出団体	出欠席	備考
１	石井　和子	いしい　かずこ	相模原市民生委員児童委員協議会	出席	
２	石川　寿美子	いしかわ　すみこ	相模原市介護老人保健施設協議会	出席	
３	坂口　芳郎	さかぐち　よしろう	公募市民	出席	
４	坂本　洋三	さかもと　ようぞう	相模原市２２地区社会福祉協議会	出席	
５	佐々木　美保	ささき　みほ	相模原市高齢者福祉施設協議会	欠席	
６	佐藤　金男	さとう　かねお	相模原市自治会連合会	出席	
７	澤田　弘之	さわだ　ひろゆき	相模原市薬剤師会	出席	
８	杉野　孝幸	すぎの　たかゆき	相模原市社会福祉協議会	出席	
９	田中　雄一郎	たなか　ゆういちろう	相模原市歯科医師会	欠席	
１０	谷　樹人	たに　たつる	神奈川県弁護士会	欠席	
１１	徳田　富美子	とくだ　ふみこ	友知草の会	出席	
１２	内藤　優子	ないとう　ゆうこ	さがみはら介護支援専門員の会	出席	
１３	畠山　秀美	はたけやま　ひでみ	相模原市老人クラブ連合会	欠席	
１４	久松　信夫	ひさまつ　のぶお	学識経験者	出席	副会長
１５	廣瀬　憲一	ひろせ　けんいち	相模原市医師会	出席	会長
１６	布施　寛	ふせ　ひろし	日本公認会計士協会神奈川県会	出席	
１７	堀江　千恵子	ほりえ　ちえこ	神奈川県看護協会	出席	
１８	前田　京美	まえだ　きょうみ	神奈川県社会福祉士会相模原支部	出席	
１９	松﨑　貴義	まつざき　たかよし	公募市民	出席	
２０	渡辺　真由美	わたなべ　まゆみ	公募市民	出席	

五十音順